

★ 第 132 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2016 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）

会場：北九州市立大学 北方キャンパス 本館

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号

（報告会場:D-301、会員控え室 D-302）

※持ち時間は **30 分**（報告 20 分：質疑 10 分）が標準です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、PC が使えます。

※なお今回の例会に併せた形での編集委員会は開催しません。

12 月 17 日（土）

開 会 14:00

自由報告部会 I (14:05～16:05)

1. 「地域日本語教室の役割についてボランティアはどのように考えているのか」
津村 江美（北九州市立大学大学院）
2. 「精神障害者家族の困難と家族会の機能」
山口 万里子（九州大学大学院）
3. 「NGO の活動がコミュニティ形成に及ぼす影響についての考察——地方都市における『エイズ NGO』の事例から」
井上 智史（九州大学大学院）
4. 「病への“対策”はいかに規定されるのか——HTLV-1 対策推進協議会議事録の分析から」
桑畑 洋一郎（梅光学院大学）

= Coffee Break (10 分) =

自由報告部会 II (16:15～18:15)

1. 「伴走型生活困窮＜世帯＞支援とコミュニティ形成」
稲月 正（北九州市立大学）
2. 「『オキナワ型雇用社会』に参入する若者たち——聞き取り調査を中心に」
上原 健太郎（大阪市立大学）
3. 「在日コリアン寺院の持続と変容——ニューカマー韓国人僧侶の活動に注目して」
吉田 全宏（大阪市立大学大学院）
4. 「社会学の理論と『自然』」
室井 研二（名古屋大学）

懇親会 18:30～ 本館地下 1 階パーラー 会費有職者 4000 円、有職者以外 2500 円

12 月 18 日（日）

自由報告部会 III (9:50～11:50)

1. 「地方都市における老人クラブリーダーの意識」
張 乾坤（九州大学大学院）
2. 「地方都市におけるシルバー人材センター会員の意識」
焦 曉蕾（九州大学大学院）

= Coffee Break (10 分) =

3. 「韓国におけるヤングケアラーの実態——家族ケアを担う子ども」
左 賢彬（九州大学大学院）
4. 「訪問介護ヘルパーの生活と意識」
加来 和典（下関市立大学）

閉 会 12:00